



地域連合

よこはま

2021年 12月21日
第229号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会
横 浜 地 域 連 合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7
横浜市技能文化会館 402号
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 高橋 卓也
編集責任者 高橋 直樹・加賀谷 護

横浜地域連合 第31回定期総会を開催!

横浜地域連合は、2021年11月30日(火)、ワークピア横浜において「第31回定期総会」を開催した。今回の定期総会は昨年と同様、コロナ禍における感染症対策のため、代議員数を65名に減らし、来賓は連合神奈川のみという臨時措置による開催となったが、2022年度の活動方針、予算が無事決定された。

冒頭、高橋議長は「新型コロナウイルスの感染者数が激減し、行動規制も緩和されたところではあるが、不安要素も残されているため、昨年と同様に規模縮小かつ時



挨拶をする高橋議長

間短縮での開催とさせていただきます。本来であれば、連合神奈川吉坂会長の他に、行政の皆様、各級議員の皆様、そして労働福祉団体の皆様にもお越しいただき

たいです。本年1月の社会情勢について触れ、「今年度もコロナ禍の影響で本当に厳しく辛い状況だったが、政策制度要求と提言の実現に向けた取り組みについては、皆さんからいただいたものを横浜市に提出するとともに、市議、県議の各会派に対する要請行動も実施することができた。また、

大きな取り組みとして各級選挙への対応があり、8月の横浜市長選挙から先月行われた解散総選挙まで慎重に対応してきた。市長選挙では様々な困難があったが、推薦決定した山中氏が当選したことは、横浜地域連合にとってプラスになった。その後、横浜市会議員の補欠選挙が磯子区と金沢区で行われ、10月の衆議院議員選挙と続いたが、それぞれの選挙において戦い方に課題を残している。これは野党共闘がもたらした負の産物だと認識しているが、総括と合わせてしっかりと対応し、次回の参議院選挙に活かしていきたい。」と選挙の年を振り返った。

そして「横浜地域連合は、『働く仲間が安心して仕事と生活ができる環境づくり』に取り組んでいるが、そのための活動が再開できる可能性が出てきたと思う。活動をしたいく上で大事なことは、『やる、やらない』ではなく、『やるためにはどうすればよいか』という視点で検討し、参加者の不安を払拭することだ

と思っている。方針、具体活動を実現することで、横浜地域連合の存在意義をよ

り高めていきたい。」と、コロナ禍での労働組合のあり方について語った。そして最後に「横浜地域連合は14万人組織である。この大組織の仲間が思いを一つにして取り組んでいければ、すばらしい結果を生み出すことができる」と信じている。改めて全員参加での取り組み推進をお願いしたい。」と呼びかけた。



大会議長団



挨拶をする連合神奈川吉坂会長

今回の総会は役員・構成組織代議員のみによる開催だったが、上部団体である連合神奈川からは吉坂会長にお越しいただき、ご挨拶をいただいた。続いて山中横浜市長からいただいたメッセージを大会議長が代読した。メッセージでは「コロナ禍における事業継続や再生に向けた支援、設備投資への助

横浜地域連合五役会役員の交代

役職	新任役員	退任役員
副議長	蔵光 裕明	内田 秀和
副議長	高橋 雄二	寺田 浩
副議長	福居 恵子	柳井 健一
副議長	金原 徹	鈴木 一美
事務局次長	鈴木 光敏	—

算(案)」、第3号議案「役員体制(案)」、第4号議案「総会スローガン(案)」、第5号議案「総会宣言(案)」は満場一致で決定され終了した。

役員体制については、柳井副議長(神教協)、鈴木副議長(JP労組)、内田副議長(自動車総連)、寺田副議長(自治労)が退任され、新たに蔵光副議長(自動車総連)、高橋副議長(自治労)、福居副議長(神教協)、金原副議長(JP労組)、鈴木事務局次長(JAM神奈川)が就任した。最後に高橋議長の発声により、団結ガンパロウを三唱し、閉会した。



退任の挨拶をする寺田副議長



退任の挨拶をする内田副議長

